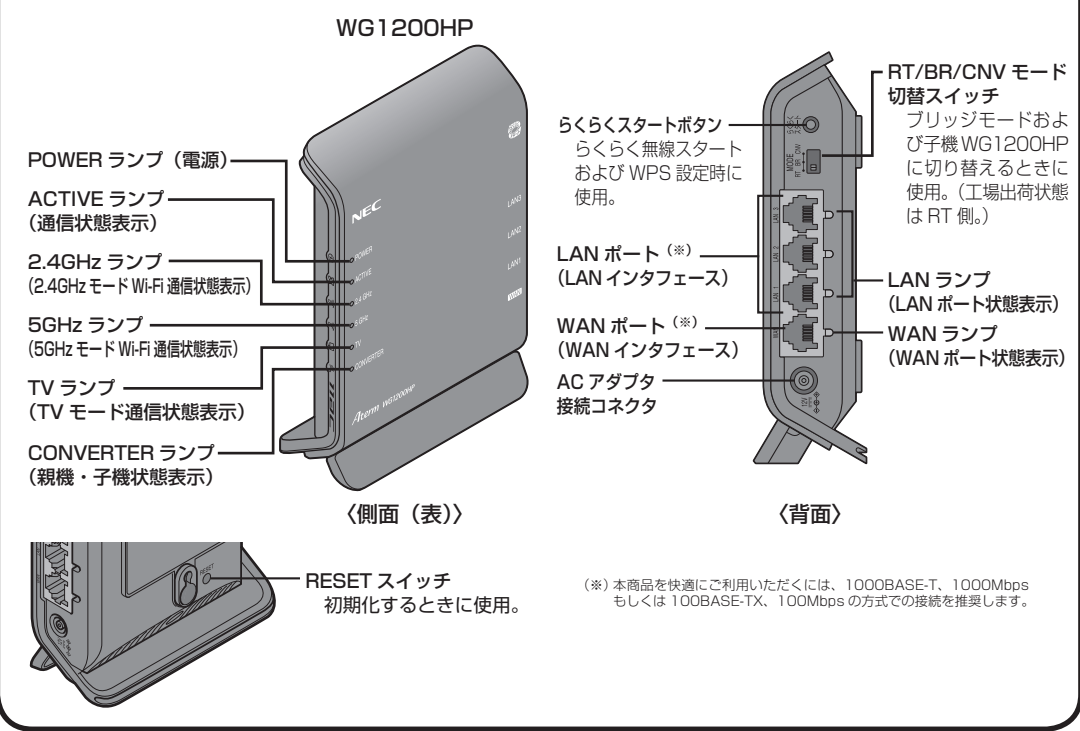


各部の名称



初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。
 ※お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化する前に、クイック設定Webの「詳細モード」画面 - 「メンテナンス」 - 「設定値の初期化と保存復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。

- 1 本商品のPOWERランプが緑点灯していることを確認する
 ※電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約40秒お待ちください。
- 2 RESETスイッチを細い棒状のもの(電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。)で押し続け、POWERランプが赤点滅をはじめたら放す
 ※POWERランプが赤点滅をはじめると6~10秒かかります。
- 3 本商品からACアダプタのプラグを取り外して、約10秒待ってから差し込む
- 4 約1分待つ
 ※側面(表)のランプが一斉に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定Web」で設定します。クイック設定Webの起動方法は下記のとおりです。

- ### クイック設定Webの起動方法
- WWWブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。
<http://aterm.me/>
- ※「aterm.me」部分を、本商品のIPアドレス(工場出荷時は192.168.10.1)にして起動することもできます。
 - ※ユーザ名/パスワード入力画面が表示された場合は、「ユーザ名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)にはお客様が設定した管理者パスワードを入力して、「[OK]」をクリックしてください。管理者パスワードがわからない場合は本商品を初期化してください。(※上記「初期化方法」)
 - ※ブリッジモード(ルータ機能停止)でご利用の場合(ACTIVEランプが点灯している場合)は、下記の手順で起動してください。
 - ① 本商品の電源をいったん切る
 - ② 本商品のらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、CONVERTERランプが緑点滅したら放す → 本商品の強制DHCPサーバ機能が起動します。起動中はCONVERTERランプが緑点滅します。
 - ③ WWWブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.210/」と入力して起動する
 - ※クイック設定Webで設定した内容は、「[設定]」をクリックしたあと本商品を再起動することで、登録されます。

お問い合わせ

■ ホームページ「サポートデスク」
【ご注意】
<http://www.aterm.jp/support/>

掲載されているお問い合わせ先は、変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。

また、ご不明な点をUQAで検索したり、メールで問い合わせたりすることもできます。

＜お問い合わせ受付時間＞ (平日、年末年始、当社の休日、システムメンテナンス期は対象外です。)
 午前9時～午後6時(月～金曜日)、午前9時～午後5時(土曜日)、午前10時～午後5時(日曜日)
 (2015年12月現在)

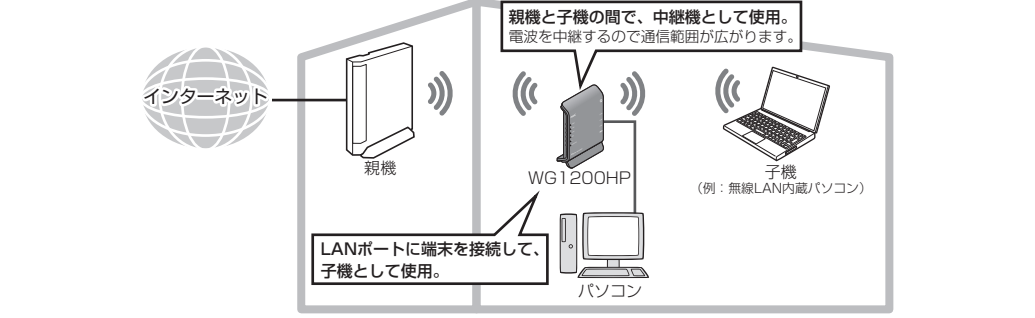
※パソコンの操作や設定などは必ず行ってください。パソコンサポートセンターへお問い合わせください。
 ※お問い合わせの際は必ず、本商品の型番または製品IDを添付してください。
 ※お問い合わせしている内容がお客様からお問い合わせの範囲内にある場合、お問い合わせの件数に限りなく対応させていただきます。ただし、お問い合わせの件数に限りなく対応させていただきますことはございません。また、お問い合わせの件数に限りなく対応させていただきますことはございません。また、お問い合わせの件数に限りなく対応させていただきますことはございません。

本商品でできること

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。
 本商品はWi-Fi(無線LAN)ホームルータとしてだけでなく、子機や中継機として使ったりブリッジモードで使ったりすることもできます。その他にもさまざまな機能があります。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。下記では、ご利用いただける機能の一部をご紹介します。

子機/中継機として使う

本商品は、Wi-Fi通信の子機(イーサネットコンバータ)として、同じ無線LAN規格に対応した親機と離れたところからWi-Fi通信することができます。また、本商品を親機と子機の間を設置して電波を中継(リレー)する中継機として利用することもできます。



下記の手順で、子機WG1200HPに設定してご利用ください。
 ※工場出荷状態で下記の設定をすると、中継機モードで動作します。中継機としても子機としてもご利用いただけます。
 ※中継機能をOFFにしたい場合は、子機WG1200HPのクイック設定Web(※右記)で設定してください。設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

- 1 本商品の電源を切る
 - 2 RT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替える
 - 3 本商品の電源を入れる
 電源を入れると、いったん側面(表)のランプがすべて緑点灯します。しばらくしてCONVERTERランプが点灯すれば、中継機または子機としてご利用いただけます。
 ※中継機能をOFFにしている場合は、CONVERTERランプは緑点灯します。
- 親機に戻す場合は、本商品の電源を切ってRT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側に切り替えたあと、電源を入れてください。

こども安心ネットタイマー

こども安心ネットタイマーでは、本商品へWi-Fi接続できる時間帯を、端末ごとに設定することができます。お子様のインターネット接続などを管理したいときに便利な機能です。こども安心ネットタイマーは、スマートフォン/タブレット端末から直接設定することができます。設定画面の表示方法は次のとおりです。(本商品にWi-Fi接続できる場所で表示してください。)

- 1 「Aterm スマートリモコン」のアプリを検索してダウンロードおよびインストールする
- 2 スマートフォン/タブレット端末のホーム画面から「Aterm スマートリモコン」のアイコンをタップして起動する
 ※起動すると、自動的に本商品を検索します。
- 3 下の画面が表示されるので、「[OK]」をタップする
 ※利用許諾契約書が表示された場合は、よく読んで「同意」をタップしてください。
- 4 設定画面が表示される

クイック設定Web画面から「こども安心ネットタイマー」ボタンをクリックして設定画面を表示することもできます。(※左記「クイック設定Webの起動方法」)

ブリッジモード(ルータ機能停止)で使う

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のプロードバンドモデムなどに本商品を接続する場合は、ブリッジモード(ルータ機能停止)を使用します。ブリッジモードは下記の手順で設定してください。

- 1 本商品の電源を切る
- 2 RT/BR/CNVモード切替スイッチをBR側に切り替える
- 3 本商品の電源を入れる
 ※電源を入れると、いったん側面(表)のランプがすべて緑点灯します。しばらくしてACTIVEランプが点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。

この方法で設定したあとに、ルータモードに変更する(ルータ機能を使用する)場合は、本商品の電源を切ってRT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側に切り替えたあと、電源を入れてください。

子機WG1200HPのご利用について

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。
 イーサネットコンバータセットの子機WG1200HP、または、本商品を子機WG1200HPに設定した場合のご利用について説明します。

子機WG1200HPのWi-Fi接続方法

本商品を子機WG1200HPに設定した場合、親機または子機WG1200HPを初期化した場合、親機のWi-Fi設定内容を変更した場合などは、下記どちらかの方法で親機にWi-Fi接続してください。

中継機としてご利用になる場合は、必ず親機にWi-Fi接続してからご利用ください。

WPSでWi-Fi接続する

親機がWPSに対応している場合のWi-Fi接続方法です。
 Wi-Fi接続する親機がWPSに対応しているかどうかは、親機の取扱説明書などで確認してください。

- 1 子機WG1200HPのらくらくスタートボタンを長押しして、POWERランプが緑点滅になったら放す
- 2 親機のらくらくスタートボタン(WPSプッシュボタン)を長押しして(約6秒)、POWERランプが緑点滅になったら放す
 ※親機のらくらくスタートボタン(WPSプッシュボタン)およびPOWERランプの位置や形状は、装置によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。

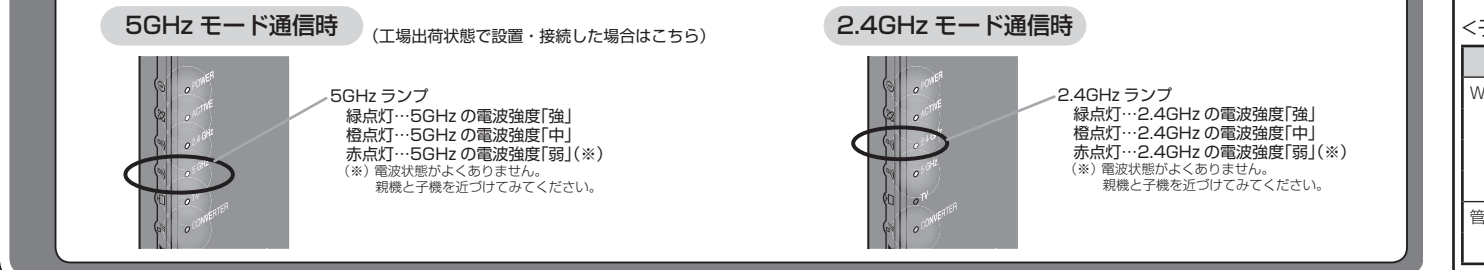
- 3 しばらく待つと、親機のPOWERランプが点灯になる
 ※親機のPOWERランプは、約10秒間点灯したあと、緑点灯に戻ります。
 - 4 子機WG1200HPのACTIVEランプが緑点灯する
- Wi-Fi接続は完了です。

クイック設定WebからWi-Fi接続する

WWWブラウザにて、ご利用の親機のWi-Fi設定内容を子機WG1200HPに設定する方法です。
 あらかじめWi-Fi接続する親機のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認したうえで設定してください。

- 1 子機WG1200HPのクイック設定Webを起動する(※右記)
- 2 「基本設定」を選択する
 ※「詳細モード」画面の場合は、「基本設定」 - 「基本設定」を選択してください。
- 3 「ネットワーク名(SSID)」にWi-Fiネットワーク内で使用するネットワーク名(SSID)を入力する
 ※親機がWG1200HPの場合、工場出荷状態のネットワーク名(SSID)は、親機の側面(裏)に記載されています。
 ※[アクセスポイント検索]をクリックしてネットワーク名(SSID)を選択することもできます。
- 4 親機の暗号化設定に合わせて暗号化設定をする
 ① 「暗号化モード」を選択する
 ② 「暗号化キー」を入力する
 ※親機がWG1200HPの場合、工場出荷状態の暗号化キーは、親機の側面(裏)に記載されています。
 ※暗号化キーに使用できる文字(半角)は次のとおりです。
 【英数字(8~63桁)】 → 0~9, a~z, A~Z, 下記の記号
 [! %] - : ? [] |
 * & * . < > ^ _
 # + / = [\ -]
 \$ (- : > \ \ -
 ※「?」は、親機によっては使用できない場合があります。
 ※「\」(バックslash)はパソコンの設定によっては「\」と表示されます。
 【16進数(64桁)】 → 0~9, a~f, A~F
- 5 「[設定]」をクリックする
 親機にWi-Fi接続したあと、再起動します。再起動中は、子機WG1200HPの電源を切らないでください。
 Wi-Fi接続は完了です。

ご利用中は、5GHzランプまたは2.4GHzランプの色で親機との電波状態を確認することができます。工場出荷状態で設置・接続した場合は、親機に5GHzで接続するよう設定されていますので、5GHzランプで親機との電波状態を確認することができます。親機に2.4GHzで接続した場合は、2.4GHzランプの色で親機との電波状態を確認できます。



子機WG1200HPのクイック設定Webの起動方法

子機WG1200HPの設定内容を変更する場合は、設定画面「クイック設定Web」で行います。クイック設定Webの起動方法は下記のとおりです。

子機WG1200HPとパソコンをETHERNETケーブルで接続してから設定してください。

■DHCPサーバ機能を起動する

- 1 子機WG1200HPのRT/BR/CNVモード切替スイッチがCNV側になっていることを確認する
- 2 子機WG1200HPからACアダプタのプラグをいったん外し、約10秒待つ
- 3 子機WG1200HPのらくらくスタートボタンを押しながら、ACアダプタのプラグを接続し、CONVERTERランプが緑点滅したら、らくらくスタートボタンを放す
 ※親機とのWi-Fi接続はいったん切断されます。
 ※子機WG1200HPのDHCPサーバ機能が起動します。
 DHCPサーバ機能が起動中は、CONVERTERランプが緑点滅します。

■クイック設定Webを起動する

- 4 WWWブラウザを起動し、アドレス欄に子機WG1200HPのIPアドレス(工場出荷状態では192.168.1.245)を入力して、設定画面を開く
 入力例: <http://192.168.1.245/>
 ※ユーザ名/パスワード入力画面が表示された場合は、「ユーザ名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)にはお客様が設定した管理者パスワードを入力して、「[OK]」をクリックしてください。
 パスワードがわからない場合は本商品を初期化してください。(※下記「子機WG1200HPの初期化方法」)
 ※クイック設定Webで設定した内容は、「[設定]」をクリックしたあと本商品を再起動することで、登録されます。

子機WG1200HPの初期化方法

うまく設定できない場合や今までは異なった使いかたをする場合は、初期化して最初から設定してください。

イーサネットコンバータセットの子機WG1200HPの場合、初期化すると、工場出荷時に設定されていたWi-Fi設定内容は消去され、初期値(下記)となります。その場合は、Wi-Fi接続し直してください。

- 1 子機WG1200HPの電源が入っていない場合は、電源を入れてから40秒以上待つ
 - 2 RESETスイッチを細い棒状のもの(電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。)で押し続け、POWERランプが赤点滅をはじめたら放す
 ※POWERランプが赤点滅をはじめると6~10秒かかります。
 - 3 子機WG1200HPからACアダプタのプラグを取り外して、約10秒待ってから差し込む
 - 4 約1分待つ
 ※側面(表)のランプが一斉に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。
- ＜子機WG1200HPの初期値＞ 初期化する下記の設定になります。

	設定項目	初期値
Wi-Fi設定	ネットワーク名(SSID)	未設定
	暗号化モード	暗号化無効
	暗号化キー	未設定
	送信出力	100%
管理者設定	管理者名	admin
	管理者パスワード	未設定

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- 警告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** :人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- お願い** :本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明
<div>警告・注意を促す記号</div> <div>     </div> <div> <div> <div>行為を禁止する記号</div> <div>       </div> </div> </div> <div> <div>行為を指示する記号</div> <div>   </div> </div>

警告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。

- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

こんなときは

以下の場合、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたとき
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

- 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

- 本商品を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

設置場所

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0～40℃、湿度 10～90％の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。
- 次のような使いかたはしないでください。
 - <悪い例>
 - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - じゅうたんや布団の上に置く
 - テーブルクロスなどを掛ける

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後にACアダプタが高温になる場合があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項

- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - 振動が多い場所
 - 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - 高周波雑音が発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生することがあります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。
- 壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。
- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。
- 動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからふきしてください。ただし、コネクタ部分は、ぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線LANに関する注意事項

- 無線LANの規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との接続が可能ですが、すべての製品の接続を保証するものではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他の注意事項

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなりデータが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

ご注意

本商品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLにしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。せつかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

無線LANご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、ETHERNETケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えやすすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換え発生する（改ざん）コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線LANをより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PINコードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定Webで行います。（☛ 表面「クイック設定Webの起動方法」）暗号化キーは「Wi-Fi詳細設定」、PINコードは「WPS設定」の画面で変更してください。

メンテナンスパージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスパージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

【重要な更新】とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスパージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバーへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的で利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続きと同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（「使用する」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（「使用しない」）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

- <無効にする方法>
- クイック設定 Web を起動する（☛ 表面「クイック設定 Web の起動方法」）
 - 「ファームウェア更新」の画面を表示する
 - *「ファームウェア更新」（または「メンテナンス」－「ファームウェア更新」）を選択して表示します。
 - 「メンテナンスパージョンアップ機能」で「使用しない」を選択する
 - 【設定】をクリックする

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz）、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g/n	W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、
IEEE802.11a/n/ac	W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、
J52 W52 W53 W56	W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
- W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
- W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）
- W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信できません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。なお、デュアルチャネル（HT40）を「使用しない」に設定変更することで改善することもあります。
 - その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	DS/OF	: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
	4	: 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	■■■■	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社はいっさい責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。